

浄土真宗本願寺派 兼重山 金蔵寺



金蔵寺通信

第27号

令和3年10月

報恩講法要のご案内

今号の紙面

- ② 任職のはなし
- ③ 金蔵寺サロン
- ④ お手伝い担当地域

このたび総代長に就任
いただきました杉原道彦
総代長に、就任のごあい
さつをいただきました



就任にあたって

金蔵寺 総代長 杉原 道彦

コロナ禍でなかなか行うことが出来ず、足踏みをしてきた法要ですが、このたび左記のように、厳修する運びとなりました。
午前のみのお参りとなります。
感染対策をしっかり行いますので、門信徒のみなさまにおかれましては、是非お参りいただければと思います。

令和三年 報恩講法要

十一月十四日(日)
午前十時から

朝席のみのお参りになります

ご講師 正円寺 石川 知全 師

(福山市 山手町)

コロナ禍のため、
お斎(食事)は
お持ち帰りください



この度、前総代長の日下氏の辞任にとまなまして、総代長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。総代長の器ではございませんし、重責にあらためまして、身の引き締まるおもいで一杯です。
本来ですと、ご門徒のみなさまから永代経法要でご承認をいただくことが本位ですが、コロナ禍にあつて、やむなく中止となり前回の寺報にてお知らせとなった次第です。
歴史と伝統ある金蔵寺の護持発展とわれわれ門信徒の信仰がますます深まることを願ってやみません。前総代長の日下氏は顧問へ、新たに副総代長として永戸氏が就任されました。ひきつづき、ご門信徒の、みなさまのご支援助とご協力をよろしくお願いいたします。
第十九代 杉原秀晃住職のもと、開かれたお寺、心のよりどころのお寺を門信徒全員で考え取り組んでまいりましょう。

合掌

(日下総代長は、任期4年の途中2年で退かれたので、退任ではなく辞任と書いています)

原文ママ

住職のはなし

居場所はありませんか？

新型コロナウイルス感染症により、生活環境が一変しました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、昨年末の足のケガも完治し元気に生活しております。

さて、今回は居場所についてのお話です。皆さんは、「居場所がないなあ」と思うこと、ないですか？初めて行った行事や会議など、まず、どこに座つたらいいかわかりません。一番前はやめとこうとか、知り合いを探しますね。逆によく知った人達との集まりは、居心地がいいものです。しかし、そんな居心地の良い場所も、ちょっと変なところ口に出してしまふと、一変して場の空気が変わってしまふと、世の中に怒ること事もあります。怒ることは、知っての間だから怒れます。初めて会った人にいきなり怒ることはできません。自己承認欲という欲望は、自分の事や自分の思いが認められないとき、満たされず「怒り」に変わっていき、孤独が生まれてくるのです。「怒り」を抑えることはできませんが、自分が「怒っているとき」にこんな考え方を「怒っているとき」に「今、自分が怒っているのは自己承認欲からきているのだな。」と分析できるかもしれません。

お釈迦様は、人間の心理について深く考えられた方です。欲には、物欲や睡眠欲など自分自身に関わるものや、

自己顕示欲など相手にも大きくかかわる欲があります。この欲から悲しみ苦しみが生まれてきます。浄土真宗の宗祖親鸞聖人は、比叡山の修行の日々を過ごされ、ご自身の無力に嘆かれ、念仏により阿弥陀さまの救いはたらき、が怒り悲しみを捨てる事ができないご自身に向けられていた事がよければ、れました。阿彌陀様の救いが向ければ、のではありません。寒い日陰から雲が移動して太陽の光の当たる場所に変わった時に感じるまぶしく温かな、ここがいいな、ずっと居たいなあ、という居場所のような喜びではないでしょうか。

この夏、上下中学校の同級生、渡辺裕介君が東京パラリンピックの射撃競技に出場しました。渡辺君は事故で右腕を失い義手の射撃手です。50メートル先の的を狙う種目では日本選手権で何度も優勝する名手ですが、パラリンピックでは惜しくもメダルには届きませんでした。大会の後にパラリンピックの思い出話を聞かしてもらった中で、本当に素晴らしい大会に渡辺くんが出場したことに感動をもらいました。彼の話の中に「みんな他人事」「自分がなると思っていないでしょ」「もう、パラリンピック忘れてるでしょ」という言葉がまさに、的をズバリと射貫いていました。大きな挫折から怒り悲しみ、自らの居場所を見つけた渡辺くんは、次に向かう場所、三年後のパリに標準

金蔵寺の取り組み



オンラインで遠方からご法事に参加

金蔵寺では、ご法事にお参り出来ないご遠方の方のために、リモートでご法事に参加出来るようお手伝いさせて頂いていただきました。

赤く丸で囲っているのは、タブレットです。お互いをLINEでつなぎ、オンラインでご法事に参加していただくことができました。

第五波のコロナウイルスが蔓延している最中でしたので、とても喜んでいただけました。

今年、本堂・会館のネット環境を整えました。こんな時だからこそ、今後を見据えた取り組みです。

どうぞご活用いただければと思います。



秋の味覚

10月のサロンは、いただいた栗や松茸を使って、栗ご飯・お吸い物を美味しくいただきました

行事報告

- 七月一日 金蔵寺サロン
- 七月二十三日 夏の清掃奉仕
- 八月十四日 盆法要
- 九月一日 金蔵寺サロン
- 十月一日 金蔵寺サロン



折り鶴献呈

サロン活動で折ってもらった折り鶴は、200羽ほどに。色分けして糸に通して、三和協働支援センターへ。広島の平和公園へ持って行ってもらいました。



夏の清掃奉仕
二十七名の参加
協力ありがとうございました

ほとけさまのおはなし

「わかっている！」は わかっている

人が親切に教えてくれることがあります。その時に、「わかっている！」と冷たく言い返してしまうことって、ないですか？

たとえば、出かける時お家の人「今日は雨が降りそうだから、傘を持っていったほうがいいよ」と親切に教えてくれたとします。それに対して、「わかっている！」と返事をしてしまったら、本当はわかっているかもしれませんが。それは相手の自分に対する思いやりの心が受取れていないからです。

相手が親切に教えてくれる時、その言葉には、自分に対する思いやりが含まれています。それを乱暴に、「わかっている！」と言ってしまったら、言葉の意味はわかっても、思いやりの心をはねのけていることとなります。

言葉に込められている思いやりの心を受け入れて「ありがとう」とお礼を言えることが、本当にわかったこととなります。

きたじま ぶんゆう 『仏教こども新聞より』

あ〜、わかるわかる（笑）そんな感想を持たれた方も多いことと思います。親子や夫婦等々。坊守も子供とそんな会話をすることがよくあります。わかっている！と言いながら結局わかっているんです。そこでイライラ。

でも時に私自身もそんな言い方をしているのかもしれませんが。相手がせっかく言ってくれた思いやりの言葉を素直に受け入れられないこのわたし。「ありがとう」と素直に言えたらすべてが上手くいくのに。考えさせられます（トホホ）。

お手伝い担当地域

コロナ禍ではありますが、二年ぶりに報恩講法要が勤まります。三密を避けて、仏具のおみがき、清掃奉仕を行いますので、ご協力よろしくお願ひします。

報恩講法要

① 仏具のおみがき

十月三十日（土） 十三時半より

- ・高蓋地区
- ・新市町上安井・下安井・戸手・新市・相方

② 清掃奉仕、報恩講法要の前日準備

十一月十三日（土） 九時より

- ・木津和・父木野地区
- ・府中市（上下町含む）



【編集後記】この夏は、第五波の新型コロナウイルス感染が猛威をふるい、感染者も過去にないほどウナギ登りに。私たちは、この世の中は、いったいどうなっていくのだろう、先が見えない不安を心底感じたことでした。今は波と波の狭間。ワクチン接種もだいたい済み、これからは、コロナウイルスと上手に付き合っ共存しながら終息を待つ感じてしようか。

コロナウイルスが流行し、行事は中止、移動が制限されたことで、人との接触が急激に減り、人間関係が本当に希薄になったことを思います。近所であつても出会うことがない、話さない、孤独死が増え本当に寂しい世の中になりました。そんな中、一人暮らしの方が、家の明かりがついていなくなったら、何かあったのでは？と近所さんがとても心配して見に来てくれた話をされていました。こんな世の中だからこそ、その心配は本当にうれしいほっこりしたものでした。移動が制限されても、ちよつとした心遣いは出来ます。コロナウイルスだからとなくして欲しくありません。遠く離れているなら、一本の電話で安否確認を。しばらく帰省出来ない坊守も、このぐらいのことしか出来ません。早く自由な移動がしたいものです。ちなみに坊守、飼犬・はっさくの散歩のおかげで近所さんと今までより親しくさせてもらっています。犬仲間、散歩仲間、有難いことです。

さて、十一月には待望の報恩講法要が行われます。午前だけのお参りです。それでもご講師の先生をお招きして勤めるこの法要は特別な意味があります。少しづつアイドリングしながら、お寺の行事を取り戻せたらと思います。どうぞお参りください。

コロナ禍で気持ちが落ち込んだりしがちですが、前向きに取り組んで頑張っていきましょう。

合掌 坊守



浄土真宗 本願寺派
兼重山 金蔵寺

神石郡神石高原町上二三七四

電話

〇八四七-八五-四三三三

FAX

〇八四七-八五-四三三四



金蔵寺 神石

検索